

大谷(沼尻)海岸の治山施設等災害復旧事業に係る地元説明会概要

件名	東日本大震災による治山施設災害復旧事業の説明会【大谷(沼尻)海岸】
日時	平成27年12月10日(木) 19:00~19:40
場所	大谷公民館 和室
出席者	大谷東・大谷南地区ほか住民 約10名

概要

1. 説明会の目的

東日本大震災により被災した防潮堤を含む海岸防災林の復旧整備については、平成25年9月に防潮堤の規格・構造等について地域住民の皆様にご説明を行いました。その際にご意見・ご要望があったため地域や関係機関との調整を行ってまいりました。

今般、ご意見・ご要望を踏まえた復旧計画がまとまったことから、海岸防災林の復旧工事に着手いたしたく地域住民の皆様にご説明を行ったものです。

2. 主な質問・意見と回答

質問等1 沖の漁場に流出しているテトラポットが回航時に船の下面に当たってしまうため撤去してほしい。

回答 流出した既設構造物等については、干潮時に所在が確認でき、重機が届く範囲は撤去可能です。

質問等2 アワビに影響があるため、工事の際に泥水を流さないようにしてほしい。

回答 防潮堤の本体はマウンドに乗せる構造で大きな掘削を行わないが、全く濁らないと言えないことはご理解いただきたい。漁協と調整を図りながら十分に注意して施工します。

質問等3 排水工の構造を教えてください。また、野々下海岸防潮堤の排水工位置が低くゴミや石が貯まりやすいため、沼尻海岸の防潮堤の排水工は設置高を考えてほしい。

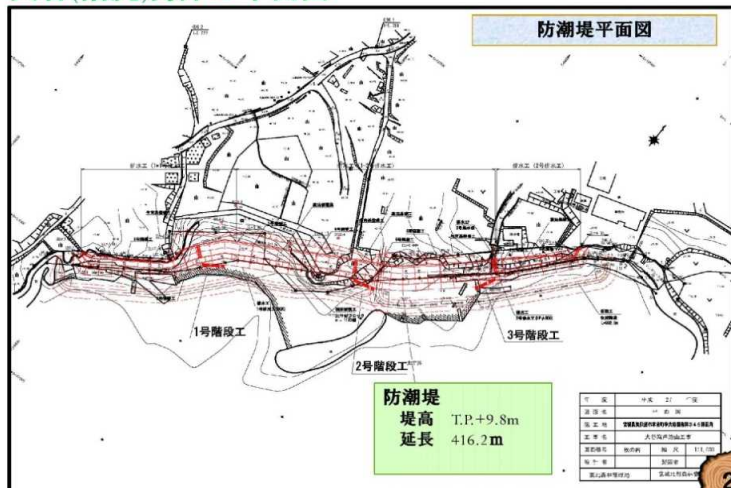
回答 沼尻海岸の防潮堤の排水工はフラップゲート式であり、高さはH.W.L+0.7mで計画しています。なお、野々下海岸の排水工は防潮堤背後の地盤高が低い関係から、海側の排水工位置が低い構造となってしまう、ゴミや石が貯まりやすかったため改修を実施したところです。

質問等4 防潮堤工事が始まると工事計画区域から海に入れなくなるのか。海藻取りを行いたいため海に入れないと困る。

回答 工事を一度に全面的に実施する訳ではなく、海に入れる範囲について調整を行うことは可能ですが、工事と皆様の安全を確保する必要があり、地元漁港と今後調整を図っていきます。最後に、施工中においては様々な状況の変化が想定されますので、お気づきの点等ございましたらお知らせ下さい。

まとめ 本日もいただいたご意見・ご要望を踏まえて工事を進めてまいります。施工中においては様々な状況の変化が想定されますので、また、ご意見・ご要望があればお聴きかせいただき、可能なものは対応していく考えでありますので、今後ともご理解・ご協力をお願いします。

大谷(沼尻)海岸の平面図



【説明会の様子】

